

多様な力が育てる、持続可能な農業！



初めて聞く農業者向け

農福連携セミナー

ノウフク

「農業の困りごとを解決する“ノウフク”という選択肢」

日時 2025年 **10月2日(木)** 10:30~12:00

対象 全国の農業関係者（農業関係者以外の参加も歓迎です）

開催形式 オンライン（ZOOMウェビナー）＋アーカイブ配信

定員 500名

応募締切 9月26日（金）

申込フォーム <https://forms.gle/BXgtJh5iav8Nrt298>

参加
無料

お申込みはこちら



農福連携 とは

農福連携は、障害者、高齢者、生活困窮者等、さまざまな生きづらさを抱えた方々の農林水産分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組です。

「農」と「福」が繋がることで、農林水産業と福祉の両サイドの課題解決と、地域の活性化や新たな価値の創造につながります。農林水産業やこれに付随する加工、販売等の「農」に、障害者等生きづらさを抱えた方々の「福」が、就労、活動等の形で参画することを通じて、多様な人々が役割を分担し合い、「happy-happy」となる新たな社会の構築を目指すものです。

農福から始まる、誰もが輝ける地域づくり

2025.10.2

初めて聞く農業者向け

農福連携セミナー

ノウフク

プログラム

開会挨拶 一般社団法人 日本農福連携協会 会長理事 皆川 芳嗣

農林水産省農福連携推進室より情報提供

講演①

講師 松原 克浩 氏



ノウフクアワード
2024
グランプリ受賞

株式会社 菜々屋 代表取締役

ノウフクは経営の柱になる ～障がいのある人とともに歩む農業の実践～

徳島県で約10年にわたり、障害者雇用と育成を軸に農福連携を実践。野菜の栽培・販売を通じて福祉事業所との信頼関係を築き、地域と共に歩む農業経営を展開。労働力不足の課題に応えながら、誰もが働ける環境づくりを進め、持続可能なモデルを提示している。取組は高く評価され、「ノウフク・アワード2024」グランプリを受賞。

障がいのある人と
共に歩む農業経営者



ホームページ



講演②

講師 中井 貴宏 氏



ノウフクアワード
2024
優秀賞受賞

株式会社 バラの学校 〈ナカイローズファーム〉 専務取締役

バラでつなぐ農と福祉と地域 ～“誰もが誇れるしごと”を花ひらかせる～

山形県村山市を拠点に、無農薬食用バラの栽培・加工・教育プログラムを基盤とし、障害者就労支援事業所と連携。雇用創出や休耕地活用による農福連携による地域創生を推進し、観光や商品開発にも展開。全国に持続可能なモデルを発信している。取組3年目で「ノウフク・アワード2024」優秀賞を受賞。

花づくりで広がる
農福連携の担い手



ホームページ



モデレーター

川辺 亮 氏

株式会社 農都共生総合研究所 代表取締役

農都共生総合研究所 代表取締役。農学博士。広告会社、シンクタンク、食品メーカー等を経て2009年より現職。地域活性化・ソーシャルキャピタル・6次産業化・地域ブランド・食文化（スローフード）等をテーマに研究及び実践支援等を行い、昨今では農福連携の共同研究や人材育成等に從事。



今後の開催予定

11月13日(木) 障害者就労施設向け 農福連携セミナー

2月上旬 交付金活用セミナー

